

文部科学大臣

あべ俊子様

要望書

令和6年12月23日

長野市議会新友会

# 要 望 書

平素より本市の行財政運営につきまして、格別なるご指導、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本市は長野県の県都として重要な役割を担いながらも、人口減少・少子高齢化など、多くの課題に直面しています。

そのような中、心と体の健康づくりを推進し、市民が支え合いながら地域社会で自分らしく暮らすことができ、心身ともに健康で幸せを実感できる「健幸増進都市・長野」の実現に向けて取り組んでおり、子どもの夢を育むまちづくり・スポーツを軸としたまちづくりを推進しているところです。

そのためには、学校施設環境の改善や、市街地の再開発による賑わいの創出、道路改良による交通渋滞の解消、持続可能な農業政策、子育て支援、災害に強いまちづくり、さらには、第82回国民スポーツ大会の施設整備などの諸課題に迅速かつ積極的に取り組んでいく必要があります。全ての市民が将来にわたり安心して快適に暮らせる社会を目指し、地方創生を進めていかなければなりません。

つきましては、本市の未来を見据えた更なるご支援を賜りたく、ここに要望いたします。

何卒、格段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年12月23日

長野市議会新友会 会長 寺沢 さゆり

# 要 望 事 項

## 1 学校施設環境改善交付金の交付額算定の見直しについて

学校施設の長寿命化、トイレの洋式化、エアコン設置などの教育環境の改善等に対する国庫補助事業である学校施設環境改善交付金について、交付額は、事業ごとに算出した配分基礎額(配分面積×配分単価)に算定割合を乗じた額と、事業に要する経費(実工事費)の額に算定割合を乗じた額とを比較して、少ないほうの額の総和に事務費を加えた額が交付されるが、物価高騰等の影響から、配分基礎額と実際の工事費には多大な乖離が生じているにもかかわらず、低額となる配分基礎額が採用される。

実工事費との差額については地方の財政負担を強いられていることから、配分基礎額の算定に用いる配分単価を、実工事費に見合う額への見直しを図っていただきたい。